

布の印のつけ方や  
接着芯の貼り方は  
縫う前の下準備で  
詳しく説明しているよ  
まだ見たことがない  
人は先に見てね!

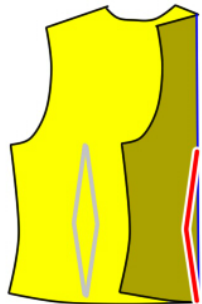
→ 縫う前の下準備

## ■表 ■裏

裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。

型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。

洗濯をしないのであれば、木工用ボンドを水で薄めて塗ってもほつれどめになります。



ダーツ(服を立体にするためのつまみ)を縫います。

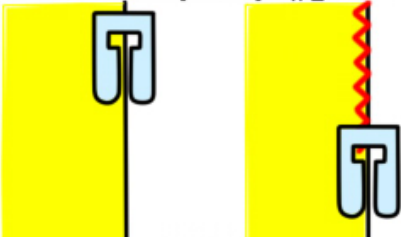


先に赤い部分をほつれ止めします  
赤い部分以外は縫いながらほつれ止めしていきます

ピケ(ほつれ止め液)をつかうと楽ですよ



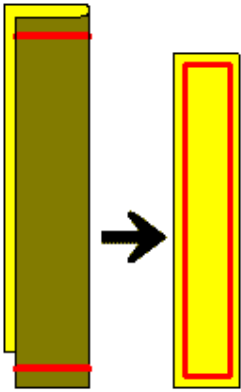
←ジグザグ縫い



←は家庭用ジグザグ縫いでのほつれどめの仕方。

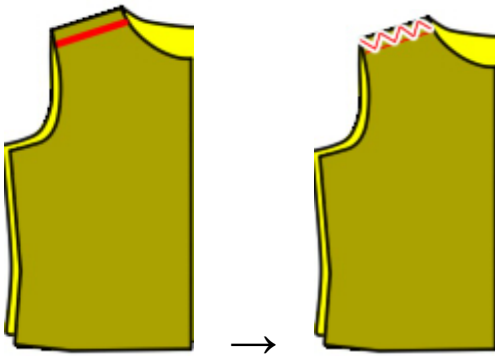
布の端が押さえがねの真ん中にくるようにします。

右側に針が落ちるときに、布からはみ出るようにジグザグで縫っていきます。こうするとはみ出た部分が布の端を包んでくれてほつれませんよ!



前中心の持ち出しを作ってください。  
中心の線どおりに半分に折ってアイロンで折ってください。

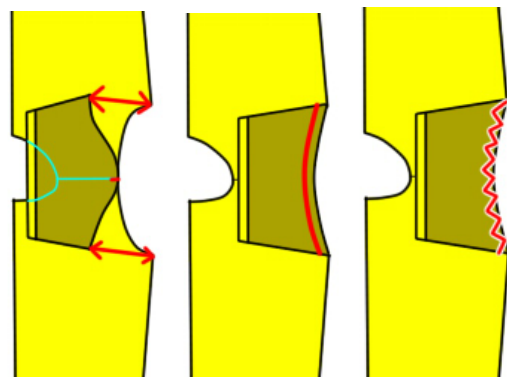
アイロンの折り目と反対に折り、上下の縫い代を縫ってください。  
表に返して端から2~3mmの所を縫ってください。  
端をほつれ止めしてください。



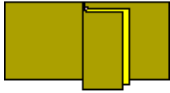
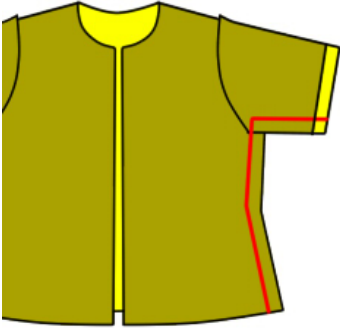

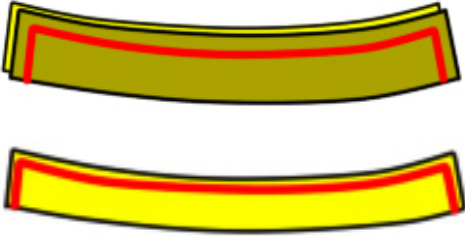


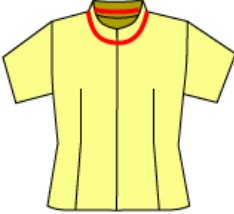
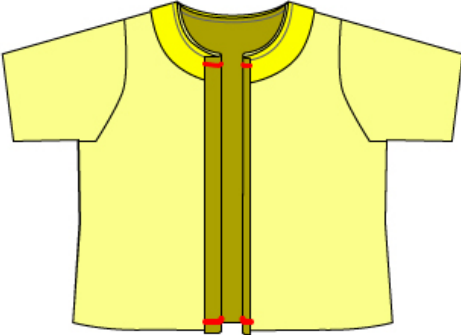

前身頃と後身頃の肩を表同士が内側になるように重ね縫う。  
(表同士を内側に合わせることをお裁縫用語で中表といいます)  
前後の肩を一緒にほつれ止めしてください。



そで口の縫い代を裏へ折り、縫ってください。



そでを身頃と表同士が内側になるように重ねて縫ってください。  
そでぐりとそでを一緒にほつれ止めしてください。  
そでの縫い代をアイロンで身頃側へ折ってください。

	
	 <p>そでの先から脇まで縫う</p>
	 <p>えりを表同士が内側になるように重ねて赤い線のところを縫ってください。</p> <p>表に返して端から2～3mmの所を縫ってください。</p>
	 <p>えり首にえりの印同士を合わせてください。</p> <p>端から3～4mmの所を縫って下さい。</p>
	 <p>前中心の縫い代を表側に折ってください</p> <p>上下を7mm幅で縫ってください。</p>

	<p>前の縫い代を裏側にひっくり返してください。 前中心の下に持ち出しを重ねてください。 アイロンですそを出来上がり線で折ってください。 表から端から3mm位のところを縫ってください。</p>
	<p>スナップボタンを付けて完成です</p>

## いるもの

生地、ボタン(スナップボタン) 生地に合った色の糸

## オススメ生地

シーチング 色柄が多くやわらかい生地 大体どこの手芸店でも買えます  
ブロード 薄手の綿生地。シーチングより目が詰まっていて少し張りがあります

TCブロード T(ポリエステル)が入っている分綿100%よりシワになりにくいです